

2016.5.18

ご支援をいただいたみなさまへ

支援のご報告No.32

お父さんたちのネットワーク
世話人 石垣政裕

いちにちやっとうまくなるねえ — 東京を飛び越えて支援に行く —

もう、ボランティアを受け入れ始めてから4年目になる。東北の私たちからすれば、東京を越えてしまうと地理的に危うくなるので、反対に名古屋の方面からすれば、東北は一括して東北といわれても仕方がないようなのですが、ボランティア5回目になると打ち上げの飲み屋もしっかり押さえています。値段の割にはいい酒が飲めて、水産品が食べられる店。私も初めて入る店がちゃんと調べてあります。

一昨年は満開の桜花の上に雪が積もっていただきました。思い出だけでもブルッと来ます。今年も時期が早いので寒いかと危ぶみましたが、「晴れ女」「少し晴れ男」が多かったのでしょうか。いい天気にも恵まれました。私は友人に不幸があったので、朝、仙台駅前で挨拶をしてみんなを見送りました。夜行バスを降り、駅前の「半田屋で朝食」の日程は今年も変わりません。いつか「どこか朝食の…」といっても彼らにとっては「めしの半田屋」ほどいいところはないといわれた覚えがあります。



今年は五回目。復興も5年もすれば…との思いは震災当初あったかもしれないが、現実を目の当たりにすれば、本当の復興が実はこれからだということを実感するかもしれません。これまでの人と人のつながりもこれからののだという意識が、今年の参加者にはあります。総勢25名はこれまでの中でもとても多い人数です。これだけの人たちが、深夜バスで、新幹線駆けつけてくださる。既に何十年も生きてきてしまった私は、いま、まさに経験していることの新鮮さと、忘れてはいけないという使命感で満たされています。

みなさんの希望で、「今年も牡鹿半島へ、のメカブの作業に行きたい！」という思いで、今年も小淵浜(株)フジマルさんのところでお世話になりました。お昼は「スーパーにでも買いに行つて…」などと安易な考えでいたのですが、社長さんの計らいで用意していただきました。面目ありません。

4月9日・10日の二日間メカブの作業を終えると、みんな腕が上がったといいます。とはいっても、帰ってからメカブの作業に従事するなんて事はないわけですが、その言葉だけでもうれしくて涙が出ます。



今回は、大崎市田尻のロマン館にとりました。初めての宿泊でしたが、デザート付きの生姜焼き焼き肉定食はおいしかったし、「さくらの湯」にどっぷりとつかって疲れを癒やすこともできたし、交流もできたし、料金もリーズナブルだし、ボランティアには最もいい宿泊かもしれません。

参加者の一人が詳しいレポートをブログに書いていらっしゃるのでも、そちらも参考にさせていただければと思います。本文の写真も一部そのブログから利用させていただきました。ありがとうございました。

「ツネゴンの観るのは、楽し！」

<http://ameblo.jp/tunegon/entry-12150232399.html>

参加劇団 劇団名古屋 劇座 シアターアーツ 上野市民劇場 劇団すがお
岡崎演集 劇団はぐるま 劇団からっかぜ 25名

4月9日(土) 7:45 集合・出発 仙台駅東口 マグドナルド前
25名(男11、女14) 石垣は見送りのみ
出発前に駅東口のコンビニで弁当を各自準備
9:45 着 小湊浜 作業開始
12:00 昼食
13:00 作業再開
16:00 作業終了
16:30 出発 小湊浜
18:10 着 田尻町ロマン館 石垣合流
〒989-4305 宮城県大崎市田尻町小塩字八ッ沢1
18:30 夕食

4月10日(日) 7:00 朝食
7:30 出発 田尻町ロマン館
9:00 着 小湊浜 作業開始
12:00 昼食

石垣弁当買いだし

13:00 作業再開

14:00 作業終了

14:30 出発 小湊浜

途中 女川・石巻(日和山)視察

17:30 着 仙台駅東口